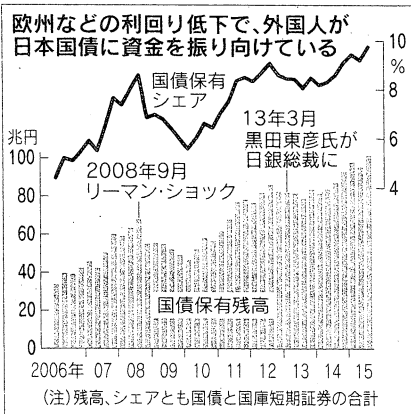


# 外国人 国債保有100兆円超



外国人の保有残高はこの1年で14兆円増加した。第2次安倍政権発足直後の12年12月末と比べると18兆円(22.9%)増だ。日本国債への海外マネーの流入は10月以降も増勢となっており、今年末時点で保有シェアが10%を超す可能性がある

## シエア10%に迫る 短期売買、金利振れやすく

外国人投資家による日本国債の保有残高が初めて100兆円を超えた。日銀統計によると、外国人が保有する国債と国庫短期証券の残高は9月末時点で101兆円と、前年同期比で16.5%増えた。国債発行残高1039兆円のうち、外国人の保有シェアは9.8%と2桁に迫る。欧州などで国債利回りが低下し日本国債に資金を振り向ける動きが活発になった。ただ、短期売買が多いと、国債の金利は振れやすくなる。

外国人の保有残高はこの1年で14兆円増加した。第2次安倍政権発足直後の12年12月末と比べると18兆円(22.9%)増だ。日本国債への海外マネーの流入は10月以降も増勢となっており、今年末時点で保有シェアが10%を超す可能性がある

日本国債買いが目立つのは欧州の投資家だ。欧州中央銀行(ECB)がマイナス金利政策を導入。ドイツの10年物国債の利回りは2年前の2%前後から直近では0.6%まで下がった。日本の10年物国債は同期間に0.7%から0.3%弱に低下したにとどまる。

この結果、日独の利回り格差は1.3%から0.3%に縮小し日本国債の投資魅力が高まった。ノルウェー政府年金基金の日本国債の保有残高は9月末時点で約3兆2000億円。1年前と比べ11%増えた。

米国の投資家も日本国債を買っている。米連邦準備理事会(FRB)が利上げに動き、ドルの需給が引き締まった。相対的にドルを使って円資金を調達するコストが下がり、低金利の日本国債に対する投資でも利益を上げやすくなっている。

投資家が国債に投資する目的は資産の安全運用であることが多い。日本

国債の格付けは国内総生産(GDP)の2倍を超す債務残高の多さから低下傾向にあり、他の先進国と比べても低い。9月には米格付け会社のスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が格付けを「シングルAプラス」

に1段階引き下げた。それでも投資先には選ばれる一因に日銀の異次元緩和がある。日銀は金融緩和の一環として国債を大量に買っており、外国人投資家の間では「日銀にいつでも国債を売却できることが一定の買い安心感につながっている」(みずほ証券の上野泰也氏)という。

ただ、外国人による国債購入については「長期投資を目的としたものでない」(東海東京証券の佐野一彦氏)との見方が多い。日本国債への資金流入は先進国中銀の緩和的な政策に支えられている面がある。政策の方向性が変わり、マネーの

流れも変われば大幅な国債売りが出かねない懸念がある。

日本国債への資金流入

## 来年度予算案きょう決定

政府は24日、2016年度予算案を閣議決定する。予算総額は96兆7200億円とする。15年度当初予算に比べて3800億円増えて過去最高を更新する。高齢化を映し医療や介護などの社会保障費が膨張するため。障壁の伸びを反映して新規国債の発行額は34兆4300億円と15年度から2兆4300億円減る。政府は6月末、国債費

は構造改革への期待が高まっている日本の魅力を高め、また2000年代半ばなれば各国の金融政策まで小泉政権期にも起る変化で日本の金利が乱きた。安定した投資先と高下する可能性がある。

と地方交付税交付金を除く年度目標は達成できる見込みだ。一般歳出(政策経費)メドがたった。ただ社会の伸びを今後3年間で1兆6000億円程度に抑える計画を決めた。16年度予算案では一般歳出の33%にのぼり抑制は大きく伸びは4700億円と初年度課題として残る。

## フィンテック共同研究

三井住友銀行は国立情報学研究所と共同で、金融融合する「フィンテック」